



歯のほなし

知っているようで知らない? 「歯周病」の基礎知識



「むし歯」と並び、よく知られている歯の病気に「**歯周病**」があります。最近ではテレビCMでもよく耳にするため、名前だけでも聞いたことはあるでしょう。しかし、名前は知っていても、この病気のことをしっかり理解している方は、もしかしたら少ないのかもしれないですね。

そこで今回は、「**歯周病がどのような病気なのか?**」「**どのように進行していくのか?**」などの『**歯周病の基礎知識**』をお話させていただきます。

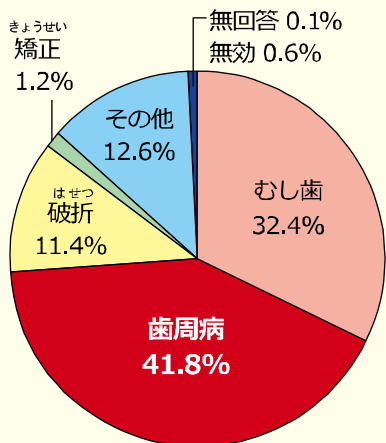
歯周病とはどんな病気?

歯周病とは、**歯を支えている歯槽骨が細菌によって破壊されるお口の病気**です。歯槽骨が破壊されると歯を支えることができなくなり、最終的には歯が抜け落ちてしまう怖い病気です。

この歯周病は、風邪のような病気とは違い、**自然に治ることはなく、治療しないとどんどん進行していってしまいます**。また、やっかいなことに、初期の段階では**自覚症状がほとんどない**ため、なっているにもかかわらず気づかない方が大半です。

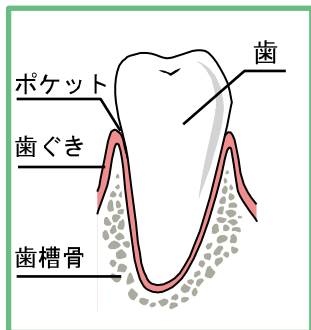
歯周病は年齢とともに増え、40代になると急激に進行していきます。現在、**歯を失う原因の第一位が歯周病**となっています。

【抜歯にいたる主な原因】



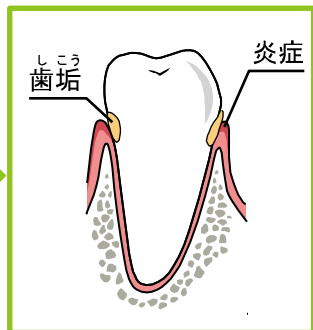
どのように進行していくのか?

健康な状態の歯



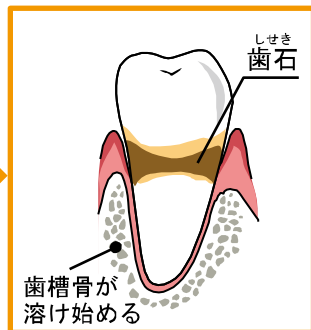
歯ぐきがキュッと引き締まり、歯槽骨が歯をしっかり支えています。また、歯周病の進行度の目安となる、歯と歯ぐきの境目の「**ポケット**」の深さが**2mm以内**であれば正常の範囲です。

歯周病の初期症状



「**ポケット**」に細菌の温床となる歯垢がたまり、歯ぐきに炎症が起きてきます。これは「**歯肉炎**」と呼ばれる状態で、**ポケットの深さも3~4mm程度**に深くなります。しかし、まだ歯槽骨は減っていませんので、この段階で適切な治療を行えば健康な状態に戻すことができます。

中期症状



ポケットの深さが5mm以上となり、中に歯石がついて、歯ぐきが腫れたり出血したりしてきます。ポケットが深くなるにつれ歯槽骨も溶け始め、歯がグラグラついてきます。

末期症状



ポケットの深さが6mm以上となり、歯ぐきがブヨブヨして中から膿が出てくることもあります。症状が悪化していくにつれ歯槽骨は溶け、歯は上下にグラグラして最後には抜けてしまいます。

歯周病は「**沈黙の病気**」と呼ばれているほど、初期の段階では自覚症状がほとんどありません。したがって、年に数回は歯科医院で歯をチェックして、**早期発見・早期治療**に努めましょう!



クイズの 2 男性の方が長い

平均寿命の長い女性の方が歯の寿命も長いと思われがちですが、実は男性の方が女性よりも平均4年ほど長いそうです。これにはホルモンが影響していて、女性ホルモンには歯周病の病原菌を増殖させたり、歯ぐきの炎症を悪化させたりする働きがあるため、女性は歯が悪くなりやすいと言われていました。